

様式第 1 号

会 議 録

会 議 の 名 称	第 1 回 所沢市保健所設置検討委員会		
開 催 日 時	令和 7 年 2 月 1 8 日 (火) 午後 7 時 2 0 分から午後 8 時 2 0 分まで		
開 催 場 所	市庁舎 高層棟 6 階 6 0 4 会議室		
出席者の氏名	委 員 長 今城 俊浩 委 員 高橋 直也、西 汐里、成田 英明、秋山 世志子、 下山 賢一郎、塚本 京子、仲野 真海、阿部 由香、 伊東 成未、赤間 登美子、清水 光恵、小内 正秋、 西川 裕二、梅田 宜咲、鈴木 聡子、田島 貴子、 馬場 正次、河野 文代		
欠 席 者 の 氏 名	副委員長 扇原 淳		
傍 聴 人	4 名		
説明者の職・氏名			
議 題	(1) 所沢市保健所について (2) その他		
会 議 資 料	資料 1 第 1 回 所沢市保健所設置検討委員会 次第 資料 2 所沢市保健所設置検討委員会委員名簿 資料 3 第 1 回 所沢市保健所設置検討委員会 席次表 資料 4 所沢市「中核市移行に関する基本方針」 資料 5 所沢市保健所設置概要 資料 6 今後の検討の流れについて 資料 7 資料 5 所沢市保健所設置概要の補足資料 資料 8 所沢市保健所設置検討委員会条例		
担 当 部 課 名	市長 小野塚 勝俊 経営企画部 部長 市川 博章 次長 大出 久美 経営企画課 課長 並木 茂幸 主幹 岩崎 智己 主査 大舘 徹 主任 細谷 朋輝 副市長付政策調整担当主査 廣川 澄芳		

	健康推進部	部長	越智	三奈子
		次長	小山	貴之
	保健センター長		中村	まさみ
	保健医療課	課長	河西	秀樹
		副主幹	佐藤	征逸
	健康管理課	課長	田中	浩文
	環境クリーン部	部長	安藤	善雄
	生活環境担当参事		浅見	仙隆
	(事務局) 経営企画部経営企画課			電話 04-2998-9463

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局（岩崎）	（１）所沢市保健所について 資料４、５、７に基づき、所沢市の中核市移行に関する方針、所沢市保健所設置概要及び他市保健所の状況などを説明。 （質疑応答）
委員	保健所の建設予定地は、中央中学校の隣地で、かつ、車通りの多い並木通りに面する場所である。敷地内に動物舎を整備することのだが、市民の安全面は問題ないのか。
事務局（岩崎）	県内で中核市移行に伴い保健所を設置した事例である越谷市や川越市では、保健所とは別の場所に動物愛護センターを整備している。これは、犬や猫の鳴き声が市民生活の影響にならないように配慮してのことである。 今回、本市における建設予定地は、住宅街ではなく、また、中央中学校のグラウンドをはさむ形になる。さらに、動物舎は防音に優れた建物とすることが想定されるため、鳴き声等による市民生活への影響はほばないものと考えている。 また、昨今、犬の保護件数はさほど多くないと想定していることや、同一敷地内に動物舎を整備することで、保健所に常駐する獣医師がすぐに負傷動物の対応にあたれるなどの理由から、同一敷地内への動物舎の整備を考えている。
委員	保護した犬等が脱走する恐れはないのか。
事務局（岩崎）	市民の安全面については、今後の検討の中で留意していきたい。
委員長	今回、保健センター機能の大部分を移転することのだが、移転により空いてしまう現状の保健センター施設については有効活用を考えているのか。
事務局（岩崎）	現状の保健センター施設には、こども家庭センターが入居してい

	る。現時点では、保健センター機能を移転した後は、こども家庭センターとして行う事業での利用を想定しているが、今後検討していきたい。
委員	動物の保護について、昨今の時代の流れとしては、狂犬病予防法に基づく殺処分ではなく、動物愛護法に基づく譲渡やしつけ等を行っていくという考えが主流である。本保健所においても、動物愛護の考えを汲んだ方向で検討してほしい。
事務局（岩崎）	埼玉県も殺処分ゼロを掲げており、本市においても、埼玉県の考えに沿って考えていきたい。
委員	3点伺いたい。1点目として、狭山保健所が抱える市民77万人のうち、所沢市分として34万人を本保健所で抱えるとのことである。狭山保健所の抱える人数が大幅に減ることになるが、これに伴う職員の異動等、狭山保健所の体制はどのようになるのか。 2点目として、中核市移行までのスケジュールをみると、中核市移行は所沢市議会の議決の後となっている。市議会で否決となった場合は、保健所設置も頓挫するのか。あるいは、中核市に関わらず保健所の整備を進めるのか。 3点目として、中核市移行や保健所設置について、目指すものや良い面だけでなく、想定される課題についても説明いただきたい。
事務局（岩崎）	1点目は、埼玉県が検討する内容となるため、回答しかねる。 2点目について、中核市移行に向けては、所沢市議会だけでなく埼玉県議会の議決や国の閣議決定を経る必要があるため、移行できるよう議会にきちんと説明しながら進めていきたいと考えている。 3点目について、保健所設置に向けては、医師や獣医師、保健師などの専門職職員の確保、また、保健所を新設するための建設費の確保が大きな課題であると認識している。
委員長	専門職職員に関しては、人数を確保できても、市の保健所のみの運用では、人員が固定されてしまう懸念がある。埼玉県等と協力して、職員の流動性が確保できるようにしてほしい。
事務局（岩崎）	他自治体への視察の中でも、人事異動がないため職員のスキルア

委員	アップにつながらない等の課題があると聞く。検討中ではあるが、例えば県内の中核市同士の人事交流などを考えていきたい。 現在本市では市民医療センターの建替えも進められているが、本保健所の建設費や必要職員の人件費等について、どのように予算を確保していくのか。財政状況はそこまで豊かでないのではないか。
事務局（岩崎）	近年は建設コストが非常に高騰している一方、保健所は市民サービスとして必要と認識している。そのため、建設コストを抑えつつ、市民サービスに貢献できるようバランスをとって考えていきたい。具体的な規模や職員数等については、次回以降に提示させていただく。
委員長	建設予定地は更地のため、土地に係る費用は抑えられるものと思っているが、建設費に関して、市は起債するのか。
事務局（岩崎）	大規模な公共施設を建設する場合は、起債して市の支出を平準化していくのが通常である。
委員長	意見や質問に関しては、後日、事務局宛てにメールで送る形でも良いか。
事務局（岩崎）	所沢市として考えている保健所の基本方針等については、次回の検討委員会で提示する予定であるが、現時点で要望等がある場合は、後日でもメールをいただければと思う。その場合は、2月25日（火）までに事務局までご連絡をお願いしたい。
委員長	せっかく各専門の団体の方にも代表で出席していただいているため、資料を持ち帰り検討して、団体として意見をいただければと思う。
事務局（岩崎）	（２）その他 資料６に基づき、今後の検討の流れについて説明。 （質問応答なし）

事務局（岩崎）	次回、第2回の開催日について、候補日は5月20日（火）または22日（木）とさせていただく。後日、事務局からメールを送るため、2月末までに、参加可能日について回答いただきたい。参加可能な委員が多い日を、次回の開催日とさせていただく。回答を集計後、3月上旬には、確定した開催日をお知らせする。 また、本委員会は、次回以降も午後6時30分からの開始の予定である。次回以降は、資料は事前に送付させていただく。 ～ 閉 会 ～
---------	---